

2023年7月4日

各位

会社名 霞ヶ関キャピタル株式会社
 代表者名 代表取締役社長 河本 幸士郎
 (コード番号：3498 東証グロース)
 問合せ先 取締役管理本部長 廣瀬 一成
 (TEL：03-5510-7653)

業績予想の上方修正と配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ2022年10月4日に公表いたしました2023年8月期通期の業績予想（2022年9月1日～2023年8月31日）および2023年8月31日を基準日とする1株当たり配当予想について下記のとおり修正することを決議いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 2023年8月期の連結業績予想の修正（2022年9月1日～2023年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 26,500	百万円 3,200	百万円 2,700	百万円 1,850	円 銭 227.64
今回修正予想（B）	36,000	4,100	3,800	2,000	245.54
増減額（B-A）	9,500	900	1,100	150	
増減率（%）	35.8	28.1	40.7	8.1	
（ご参考）前期実績 （2022年8月期）	20,780	2,141	1,732	1,018	132.85

（修正の理由）

当社グループの2023年8月期見通しに関し、主にアパートメントホテル事業と物流事業における案件収益の拡大や売却の早期化などの影響により、2022年10月4日に公表した見通しの売上高および利益を大幅に上回る見込みとなりました。このため、連結業績予想を上記のとおり修正いたします。

アパートメントホテル事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響を保守的に想定しておりましたが、社会活動の正常化に向けた動きが加速したことにより各案件の収益性が向上しております。

物流事業においては、当社グループが企画・開発をおこなったドライ倉庫につきまして、当初は竣工

後一定期間経過後に売却される可能性を考慮した見通しを作成していましたが、想定よりも早期にすべての物件の売却が決定したため、当初予想の売上高および利益を上回ることとなりました。

なお、今回売却するドライ倉庫の一部は当社が株式の66%を保有する連結子会社であるロジフラッグ・デベロップメント株式会社にて開発をおこなっていたものであり、売上・利益は当社連結業績に合算されますが、親会社株主に帰属する当期純利益は非支配株主持分が控除されるため当初見通しと比較して構成比が低くなっております。

2. 配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期	期末	合計
前回発表予想	—	50円00銭	50円00銭
今回修正予想	—	60円00銭	60円00銭
当期実績	0円00銭		
前期実績 (2022年8月期)	0円00銭	30円00銭	30円00銭

(注) 上記の配当予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の配当は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

(修正の理由)

当社は、利益配分につきましては、業績の推移を見据え、将来の事業の発展と経営基盤の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定的かつ継続的な配当を維持することを基本方針としております。

株主の皆様への日頃の感謝の意を表するとともに、当期の業績予想を踏まえ、2023年8月期の期末配当予想につきまして、1株当たり10円増配の60円といたします。

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

霞ヶ関キャピタル株式会社 広報・IR部 / TEL : 03-5510-7653 MAIL : ir@kasumigaseki.co.jp